

こんにちは!

村立東海病院です



レクリエーションで、療養生活の中にも楽しみを

村立東海病院では、入院生活の中でも楽しみながら持てる力を発揮できるように、病棟レクリエーションを企画しています。今回はレクリエーションを行う意義と、その一つとして開催した院内でのコンサートの様子についてご紹介します。

■どうして、レクリエーションが必要なの？

「レクリエーション」とは、ゲームやダンス、スポーツなど体を動かすものから、音楽鑑賞や絵画、歌唱等の文化的な活動まで、さまざまなものがあります。ではなぜ、レクリエーションが必要なのでしょう。

人の1日の生活時間は大きく右の3つに分けることができます。これらの3つの「時間」が時に重なり合って1日の生活時間を構成しているのです。ところが、入院中の患者さんや高齢者は「社会的拘束時間」が少ない傾向にあります。その時間を埋めるためにもレクリエーションは有効なものなのです。

【人の1日の生活時間】

- ①自由時間…テレビを観たり、本を読んだり、自分の意のままに費やす時間
- ②生活必需時間…全ての人が必ずしなければ生きていけない行動をまとめた時間(睡眠・食事・排せつ行動等に費やす時間)
- ③社会的拘束時間…現代の社会生活を営むための社会的基盤をつくる時間(仕事・家事・育児・学業等に費やす時間)

■新春コンサートを開催しました

そのレクリエーションの一環として、2月7日、リハビリテーション室で、第2回「新春コンサート」を開催しました。これは、「入院中の患者さんたちに、生の音楽に触れてもらいたい」という病棟スタッフの声に、ロック好きの薄井先生(内科医師)とサービス向上委員会のメンバーが応えて実現したもので、バンド経験のある職員等を招集し、昨年度から開催しています。当日は、患者さんやその家族など、多くの方々にご来場いただきました。コンサートは、往年のテレビドラマ「太陽にほえろ」のテーマ曲の演奏から始まり、最後は「明日があるさ」の大合唱で、大きな拍手の中終了しました。



当日は、患者さんやその家族など、多くの方々にご来場いただきました。コンサートは、往年のテレビドラマ「太陽にほえろ」のテーマ曲の演奏から始まり、最後は「明日があるさ」の大合唱で、大きな拍手の中終了しました。

入院生活では、一般的に高齢者ほど刺激が少なく、認知症を発症したり、症状が進んでしまうことがあります。そんな中、少しでも楽しみを持って療養生活を送ってもらうために、レクリエーションがその手助けになればと考えています。当院では、今後もこのようなコンサートの他に、さまざまな催しを企画し、それらを通して患者さんと病院職員との距離を縮め、親しみやすく、患者さんに少しでも元気を与えられるような明るい療養環境の構築を目指していきます。



【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、保健年金課地域医療担当(☎287-0899)